

令和7年度 第1回 介護保険運営協議会議事録（要旨）

開催日時 令和7年10月31日（金）午後1時15分から午後2時15分

開催場所 胎内市役所 3階 301会議室

出席者

【委員】阿彦委員長、千野副委員長、松浦委員、春木委員、小田委員、宮下委員、緒形委員、菅原委員、堀川委員、西村委員、佐藤委員、傳委員（12名）

（欠席） 皆川委員、奥村委員（2名）

【事務局】福祉介護課：金子課長、新田見主査、近係長

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

（1）介護保険運営状況について

事務局から資料1に基づき説明を行った。

委 員 質疑・意見なし

事務局から資料2、資料3-1、3-2、3-3に基づき説明を行い、以下の質疑・意見があった。

委 員 インセンティブ交付金とは何か？

事務局 インセンティブ交付金とは、高齢者の自立支援・重度化防止や介護予防・健康づくりといった、市町村の重要な取り組みを国が財政的なインセンティブとして支援・推進するために交付されるものである。

この交付金には、市町村の様々な取り組みの達成状況を客観的な指標で評価する「保険者機能強化推進交付金」と、介護予防に資する取り組みを特に重点的に評価する「介護保険保険者努力支援交付金」の二種類がある。

ただし、評価指標と採点基準は毎年変更され、また、得点1点当たりの交付額も、被保険者数などにより変動する仕組みとなっている。

胎内市は、この評価において県内で上位の順位にある。

（2）市報たいない11月1日号「介護特集」について

事務局から資料4に基づき説明を行い、以下の意見があった。

委 員 これから高齢化が進むことを考慮すると、市報で介護の情報を発信することは非常に有益である。今後もこのような取り組みを期待している。

4 議題事項

(1) 第10期介護保険事業計画策定に向けたスケジュール

事務局から資料5、資料6に基づき説明を行い、以下の質疑・意見があった。

また、第10期介護保険事業計画（計画期間：令和9年度～令和11年度）において、「胎内市認知症施策推進計画」を盛り込むことが説明された。

委員① ニーズ調査の対象者数、配布する件数、回収率について教えてほしい。

事務局 65歳以上の一般高齢者は約10,104人である。信頼性のある調査結果を得るために、1圏域当たり400件程度の回答が必要である。
配布件数は2,910件、回収率は67%程度を見込んでいる。

委員② アンケートの告知・周知方法はどうか？

事務局 市報11月1日号および市のホームページを通じて告知する予定である。

委員③ 設問数が多いため、回収率が低下する可能性がある。設問内容を精査し、回答者への負担を軽減するようにしてほしい。また、アンケートに困っている方がいればサポートしたい。

事務局 設問内容については、負担感を考慮して少し改善を行う予定である。

委員④ 令和8年度の協議会は年4回開催予定でよいのか？

事務局 その通りである。

5 その他

事務局から、在宅生活改善調査についてはケアマネジャーの協力を得て実施する予定であり、改めてケアマネジャーへの依頼と説明を行う予定である旨が報告された。

6 閉会

※この議事録は委員等の発言内容の要点を記録したものである。

以 上